

解答例

2025 年度一般入試A日程（英語）解答（2月1日）

<大問 1>

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)
9	6	5	2	7	2	1	1	4	5
(11)	(12)	(13)	(14)	(15)	(16)	(17)	(18)	(19)	(20)
6	3	6	5	3	4	4	1	5	5
(21)	(22)	(23)	(24)	(25)	(26)	(27)	(28)	(29)	(30)
2	6	4	5	5	6	2	1	3	7

<大問 2>

(31)	(32)	(33)	(34)	(35)	(36)	(37)	(38)	(39)	(40)
2	3	4	1	5	2	2	3	4	1

<大問 3>

(41)	(42)	(43)	(44)	(45)	(46)	(47)	(48)
4	2	3	1	1	3	2	4

<大問 4>

設問 1:

生きているものが発生する音

無生物が発生させる音

外界の状況を説明する言葉

心理的感情を説明する言葉

設問 2:

男の子が入った大きなモモが流れているというあり得ない状況を

表現する擬音語が存在していて

それを日本人であればほぼ誰でも知っていること

2025 年度一般入試A日程（国語）解答（2月1日）

第1問

問1 (ア) 珍 (イ) 及第 (ウ) 熟考 (エ) 立脚

問2 (a) しんしん (b) にぎ (c) くつがえ (d) ばっすい

問3 X ② Y ③ Z ①

問4 面白がって模範答案のつもりで書き始める大学教授

問5 イタリアやスペインでは、思想史や哲学史から過去の哲学者の教えを学ぶのに対し、フランスでは、哲学者の教えに基づき自説をどのように展開するかを学ぶことが重視されているという違い。

問6 (1) 2つの設問から成立し、一つはテキスト説明で、哲学者の文章の抜粋を論評する。もう一つは、論述で、与えられた哲学的な問いに対して、仮説を立てて論証する。

(2) 日本で高等教育を受けても一度も習わないことを、フランス人たちは、どこにでもいる高校の先生に習っているということ

第2問

問1 (ア) 推察 (イ) 危機 (ウ) 関心 (エ) 好奇心 (オ) 想定

問2 (a) ちしりつ (b) せんりつ (c) ずいぶん (d) そうばん (e) ひかんでき

問3 X ② Y ④ Z ①

問4 メキシコでは、「真の分母」が見逃され、新型インフルの重症患者を分母にして計算していたが、アメリカやカナダで積極的に調べるようになり、軽症の人も含めて分母にするようになった

問5 歴史を通じて「一般化」できそうな共通法則を知り、新しいキキに対する対応力がつくため

問6 他国の状況を把握しておけば、日本で今後どのような状況になるか予想することができる

問7 ①

2025 年度一般入試A日程（地理総合、地理探究） 解答（2月1日）

第1問

問 1	A 焼畑		B 緑の革命		
問 2	ア j		イ f	ウ m	エ h オ a
問 3	㉑	⑥	タイ		
	㉒	⑧	カンボジア		
	㉓	①	フィリピン		
	㉔	④	インドネシア		
問 4	(a) オランダ				
	(b) イギリス				
	(c) スペイン				
	(d) フランス				
	(e) ポルトガル				
問 5	c				

第2問

問1	c
問2	b
問3	a
問4	a
問5	a
問6	d

第3問

問1

従来の農法は、森を切り開き農地や牧場に変えてゆくので、生態系の破壊につながる。一方、アグロフォレストリーでは、様々な植物を森の仕組みに従って育成することで、経済活動と環境保護の両立を図ることができる。

問2

シンガポールは中継貿易港としての利点を生かして精密機械、化学製品などの輸出型工業を育成してきた。また、大学教育の充実を進めて情報産業の基盤を整備し、国際金融センターとして、ASEAN諸国で第一位の経済発展を遂げた。

問3

インドシナ半島では、1990年代から大メコン圏経済協力プログラムの下で、日本などからの国際協力により道路網などインフラの整備が行われ、物流が大きく改善するなど、生産ネットワークの拡充により地域全体の発展が進んだ。

2025 年度一般入試A日程（歴史総合、日本史探究）解答（2 月 1 日）

第 1 問

問 1	(c)	
問 2	民主党	
問 3	リンカン (リンカーン)	
問 4	(b)	
問 5	(c)	
問 6	(d)	
問 7	スカルノ	
問 8	ビルマ	
問 9	(a)	

第 2 問

問 1	(b)	
問 2	新古今和歌集	
問 3	(b)	
問 4	(c)	
問 5	(c)	
問 6	(d)	
問 7	(d)	
問 8	(a)	
問 9	(d)	
問 10	渋沢栄一	
問 11	(a)	

第3問

問1

法然は浄土宗を開いて「南無阿弥陀仏」を唱えることで救われると説き、その弟子である親鸞は『歎異抄』で悪人こそが救われるという悪人正機説を唱え、一遍は踊りながら念仏を唱える踊念仏で庶民に浄土思想を普及させた。

問2

『海国兵談』を著した林子平は海防論を説く中で、日本列島の至る所で異国船の上陸が可能であるにもかかわらず、江戸幕府が長崎港の沿岸防備ばかりを重視して、江戸周辺の沿岸防備が不十分であることを問題視した。

問3

1873年に山県有朋の提唱のもと、国民皆兵をスローガンとする徴兵令が施行された。20歳以上の男子を抽選で選抜し、3年間の兵役を課す内容であったが、徴兵に反対する農民層を中心に血税一揆が起こった。

2025 年度一般入試A日程（歴史総合、世界史探究） 解答（2月1日）

第1問

問 1	(c)	
問 2	民主党	
問 3	リンカン (リンカーン)	
問 4	(b)	
問 5	(c)	
問 6	(d)	
問 7	スカルノ	
問 8	ビルマ	
問 9	(a)	

第2問

問 1	トラヤヌス	
問 2	(b)	
問 3	オドアケル	
問 4	(b)	
問 5	(a)	
問 6	(b) → (c) → (d) → (a)	
問 7	(d)	
問 8	(c) (d)	
問 9	(b)	

第3問

問1

北宋で使われていた紙幣。唐代後期において、遠隔地の取引のために手形が用いられていたが、商人たちがこれを引き継ぎ約束手形として使われるようになった。当時、銅銭が不足していたために、兌換紙幣として利用されていた。

問2

金代および元代に使われていた紙幣。銅銭が不足していた元代においては、銀の流通がおこなわれていたが、銀は携行しにくいため、この紙幣が重用されるようになった。しかし、乱発したため、経済が混乱してしまった。

問3

乾隆帝は、複数あった外国との貿易港を広州のみと定めた。広州で行商を行う人たちの組合からの強い要請によって行われた施策だが、貿易を制限するためのものではなく、海外との貿易を管理しやすくするためのものであった。

課題文にある自治体の取組の対象は年齢の高い層の住民であるが、こうした人たちこそ、インターネットなどを中心としたデジタルのサービスを受けるべきである。というのも、様々な社会的インフラの整備のために必要な経費を削減できる可能性があるからである。

資料①によると、インターネットの利用率はこの10年の間に徐々に伸びており、全体の8割を超えている。しかしながら、資料②のデータによると、利用している年齢層に差が出てしまっている。13歳から59歳の人たちではその利用率はほぼ100パーセントであるのだが、60歳以上になるとその率は低下している。とくに、70歳以上になるとその割合が減少し、80歳以上ではかなり少ないといえる。

そして、インターネットを利用している端末についてみると、パソコンよりもスマートフォンでの利用が多いことが資料③のデータからわかる。近年のスマートフォンの性能が格段に向上していることから、インターネットのサービスはスマートフォンを利用することを前提したものが増えているのが現状である。

そこで、宇佐市の取組をみると、携帯電話の会社との連携によって、高齢者を対象としたスマートフォンの利用者増加を目的としている。さきほどのデータと照合してみると、この取組が非常に効果的であることが理解できる。というのも、高齢者の方々がこれまで以上にスマートフォンを利用することができれば、様々なサービス

を受けることがより容易になるからである。

しかしながら、多機能の携帯電話を、慣れていない高齢者の方々が使いこなすのはなかなか困難である。しかも、都市部ではない地域に居住している方々にとっては、こうした講習会などに参加すること自体も難しいと思われる。情報格差を減らしていくために自治体はこうした働きかけをすることが今後も増えていくことが望ましい。